

## 交通バリアフリーの背景

山田地区は、良好な住環境と一体的な整備事業と一体となったバリアフリー整備を行っています。



【山田駅周辺整備事業後の完成イメージ】

## 交通バリアフリーの考え方

山田駅周辺整備事業と連携しながら、効率的・効果的、かつ重点的なバリアフリー整備を進めていくものとします。

新たな山田地区は、吹田市の先進事例となるバリアフリーのやさしいまちをめざしています。



## 交通バリアフリーの背景

市役所等の官公庁施設をはじめ、公共・医療・福祉施設等が集中しています。市域内外から多くの人々が訪れ、吹田市の中でも特にバリアフリー整備に対する要望が高い地区です。



【阪急吹田駅地下通路】  
急な階段がなく、東西の通行が不便。

## 考え方

JR線、JR線に連続した歩道の確保し、安全、まちを

## 垂直移動対策検討箇所

- 阪急吹田駅の国道479号における東西間の移動
- 中央図書館および片山公園への移動
- 中央公民館および男女共同参画センターへの移動



## 吹田市のバリアフリー化イメージ

### ① 駅舎

誰もが、公共用通路からホームまで安全で安心して移動できる移動円滑化された経路を1以上設けるよう努めます。

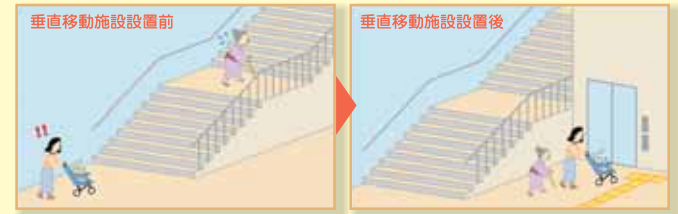
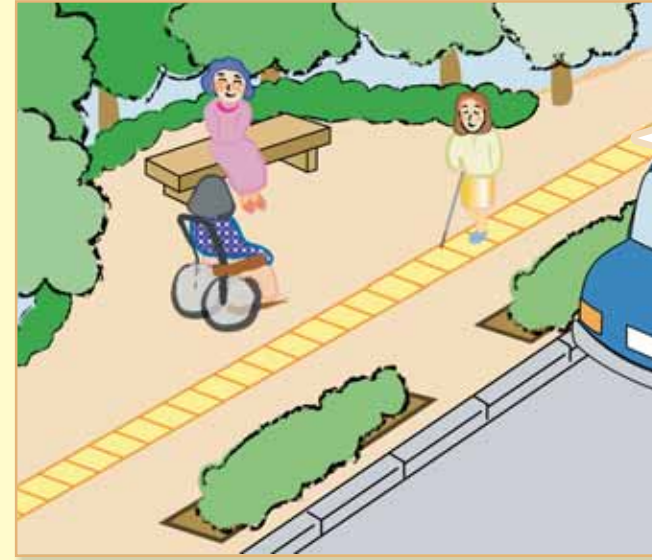
例) 高低差の大きい経路にはエレベーター等の垂直移動設備を設置。経路上には視覚障害者誘導用ブロックの設置。



### ② 歩道

重点整備地区内において、特定経路<sup>\*1</sup>と準特定経路<sup>\*2</sup>を定め、誰もが安全で安心して移動できるバリアフリー化基準を満たした歩道の確保に努めます。

例) 車いすがすれ違える有効幅員2mの確保。経路上には視覚障害者誘導用ブロックの設置。ベンチ等の休憩施設の設置。階段や縦断勾配の基準を満たせていない場所での、垂直移動施設の設置。



### ③ バス車両及びバス停

新規導入及び代替車両は、低床バスとします。低床バスの導入に合わせ、歩道の改修やバス停の充実をはかります。



### ④ 信号機

誰もが、安全で安心して利用できるよう、歩行者用青信号の時間の調整や、音響信号・弱者感应式信号機の導入を検討します。



※1：特定経路においては、平成22年度を目標に、誰もが安全で安心して移動できる歩道のバリアフリー基準を満たすよう整備を進めます。  
※2：準特定経路においては、市街化の状況や地形的制約などにより部分的にバリアフリー基準を満たすことが困難ですが、中長期的には基準に近づけるよう努めながら整備を進めます。